

《目次》

● 3月定例会	2P
● 補正した予算	4P
● 予算特別委員会	5P
● 8議員が町政を問う	9P
● インタビュー（北尾信久さん）	17P



新町長の政治姿勢に論議が集中

平成25年度予算

可決

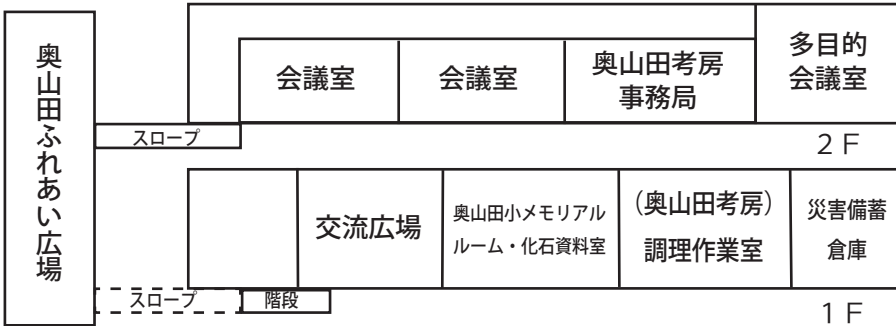
旧奥山田小をふれあい空間として整備

体育館、3階建て本館（写真左）を解体し、特別教室棟（写真右）を改修する。



ついに動き出す 旧奥山田小学校

整備計画図（案）



平成25年第1回（3月）定例会は、3月7日から28日まで開催した。新町長の初の議会となった今回、予算関係14件（補正7件・当初7件）、条例関係17件、表彰関係1件が提出され、いずれも原案どおり可決。当初予算については予算特別委員会を設置し、慎重に審議した。一般質問には8人の議員が立ち、新町長の政治姿勢など、活発な議論を展開した。

会計別の予算

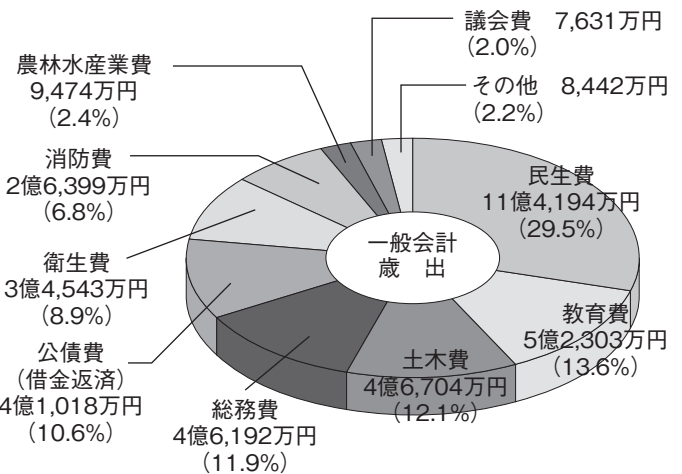
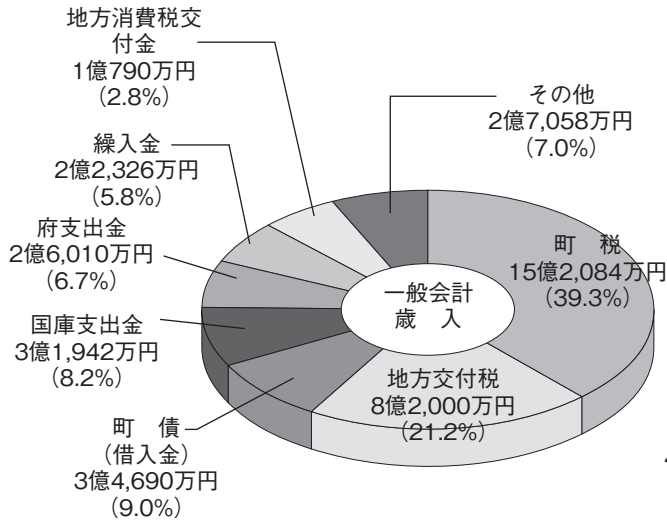
(千円以下切捨て)

会計予算名		予算額	前年度比較	議決	
一	一般会計	38億6,900万円	2.9%	可決	賛成9・反対2
特別会計	国民健康保険会計	10億640万円	△6.2%	可決	賛成全員
	後期高齢者医療会計	8,862万円	6.0%	可決	賛成9・反対2
	介護保険会計	6億9,659万円	1.7%	可決	賛成全員
	奥山田地区簡水会計	4,676万円	△46.8%	可決	賛成全員
	公共下水道会計	4億6,898万円	△12.6%	可決	賛成全員
水道事業会計	5億7,919万円	33.8%	可決	賛成全員	
合	計	67億5,556万円	1.5%		

一般会計

当初予算 38億6,900万円 (前年度対比 2.9%増)

(千円以下切捨て)



6つの重点プロジェクト (主な事業)

(千円以下切捨て)

安心・安全プロジェクト

救急自動車整備事業 (高規格救急自動車の更新)	3,431万円
自主防災組織支援事業 (備蓄物資や資機材の整備)	90万円
ため池安全診断事業 (ため池の改修推進に向け調査を実施)	200万円

子どもを育むプロジェクト

高校生通学費補助金 (高校生のバス通学費補助の拡充)	1,394万円
奥山田ふれあい空間創造事業 (旧奥山田小の特別教室を改修他)	3,500万円
安心・安全な学校給食環境整備事業 (保冷機能を備えた給食配送車両を購入)	1,121万円

地域福祉対策プロジェクト

「うじたわら安心のボトル」整備事業 (救急隊員等に、より早く確実に情報提供する)	82万円
保育所施設機能充実事業 (新年度入所児に対応するため、保育室を増床する)	537万円
コミュニティバス運行管理補助事業 (運行ルート拡充[奥山田川上・木元])	470万円

産業・観光プロジェクト

宇治田原山手線整備促進調査事業 (新名神高速道路の建設にあわせての調査を実施)	4,000万円
日本緑茶発祥のまち魅力発信事業 (集団茶園初摘みイベントの開催など)	298万円
がんばる まちの商店・企業応援事業 (町内の小規模事業者への経営改善等支援)	620万円

健康長寿プロジェクト

料理で学ぶ食の健康づくり事業 (体験型の料理教室の開催)	11万円
水中ウォーキングで健康づくりサポート事業 (講座開催と京田辺市立プールの利用助成)	20万円
生活習慣病予防対策事業 (国保特定健診等による保健指導)	224万円

環境にやさしいプロジェクト

環境保全計画策定事業 (ゴミの減量等、環境にやさしい行動計画を策定)	150万円
電気自動車普及促進事業 (低炭素化社会の実現めざし、電気自動車を購入)	439万円
住宅用太陽光発電システム設備補助事業 (住宅への太陽光発電システムを設置した場合に助成)	150万円

3月定例会

宇治田原町自治功労者表彰

3期12年間、町長として
地方自治の振興・発展にご
尽力いただいた奥田前町長
が、自治功労者として表彰
されました。



奥田光治氏

平成24年度補正予算

国の緊急経済対策に基づく大型補正

主な内容としては、緊急地震速報等を人工衛星を用いて瞬時に伝達する全国瞬時警報システム自動起動機(525万円)、消防救急無線デジタル化(1億145万円)、生活道路などの防災・安全社会資本整備(2億6千万円)、集団茶園への防霜ファン設置、暗渠・開渠排水工事(9千万円)他、国の緊急経済対策等を受け、大型の補正予算となった。

(千円以下切捨て)

会計予算名		補正額	補正後の予算総額	議決
一般会計		4億1,402万円	43億5,260万円	可決 全員賛成
特別会計	国保会計	△2,457万円	11億1,730万円	可決 全員賛成
	介護保険会計	△926万円	6億8,279万円	可決 全員賛成
	奥山田簡水会計	△68万円	9,644万円	可決 全員賛成
	公共下水道会計	7,939万円	6億2,500万円	可決 全員賛成
水道事業会計	収益的収入	△691万円	1億9,922万円	可決 全員賛成
	収益的支出	316万円	1億9,180万円	
	資本的収入	△2,786万円	4,243万円	
	資本的支出	△427万円	2億4,610万円	

【質問】
今回の補正で、地元経済への波及効果は。また、地元業者を優先した契約方法の考えは。

【答弁】
事業費約5億7千万円の内、約1億7千万円は町内業者に発注予定であることから、地域経済の活性化、景気浮揚効果の一助となるよう期待している。

平成25年度補正予算

副町長の人件費を減額補正

当初予算に、不在である副町長の給与等人件費が計上されていたが、予算特別委員会において、副町長の選任には議会の同意が必要であり、議会軽視であるとの指摘により、副町長の人件費を減額するもの。

(千円以下切捨て)

会計予算名	補正額	補正後の予算総額	議決
一般会計	1,468万円	38億5,431万円	可決 全員賛成

* 予算特別委員会の審議から *

予算特別委員会は12人で構成し、委員長に垣内秋弘議員、副委員長に内田文夫議員を選び、3月21日から4日間の日程で審議した。主な質疑は以下の通り。

総括審議

【質問】

TPPは農業だけでなく、国民皆保険制度や食の安全など、国民に大きな影響を及ぼす。消費税増税や原発もしかり。住民の立場で反対を表明すべきでは。

【答弁】

TPPについて、「聖域なき関税撤廃」は反対。また消費税については、低所得者に対する負担軽減策を十分に考慮・検討した上で、国において総合的に判断されるべきものである。原発問題については、当面の間、必要最低限を維持しつつ、「縮原発」の考え方で進めていくべきである。

【質問】

防災のサブ拠点として位置づけている総合文化

センターの整備を急ぐべきでは。

【答弁】

早急に検証し、必要な設備等の設置に向け取り組んでいきたい。

【質問】

子どもたちが安全に過ごせるように保育所、放課後児童健全育成施設及

び学校等の施設整備の充実を。

【答弁】

国の基準を満たす中で受け入れを実施しているが、職員体制の確保や施設面での工夫等を視野に入れた施設運営を行っていききたい。



災害時のサブ拠点となっている総合文化センター



宇治田原小学校1年生

【質問】

宇治田原小学校の新1年生は35人で1クラスとなっている。2クラスにできないか。

【答弁】

2クラス編成は困難であるが、加配教員を配置し、きめ細やかで行き届いた教育指導に努める。

【質問】

中学校では窓ガラスが

落下する、小学校では雨漏りするなどの現象がある。学校施設の安全対策・整備が必要ではないか。

【答弁】

施設点検を徹底し、問題所については早急に対処する。小学校においては、小中一貫教育を進める中、全体を見すえたい。うえで結論付けたい。

【質問】

国の押しつけによる給与費7・8%の削減要請への対応は。

【答 弁】

地方公務員の給与は地方が自主的に判断すべきであり、府、近隣市町村の動向も注視しながら対応していきたい。また、

人事・給与制度等検討委員会において十分調査・

研究し、労使間において慎重に協議していく。

【質問】

要援護者の避難に関し地域防災計画の改定は。

【答 弁】

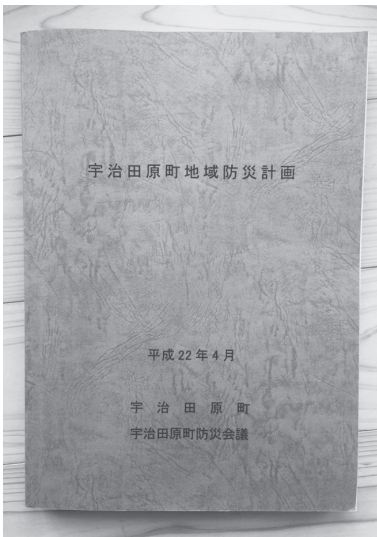
災害時の要援護者の避難については、関係機関と連携しながら、全地域での個別支援計画策定に向けて至急に取り組みたい。また、地域単位の防災計画の策定も、災害対策基本法の改正に併せ、整合を図り検討したい。

【質問】

国の生活保護基準引き下げに伴う影響は。

【答 弁】

情報収集に努めるとともに、可能な限り影響についての分析を行い、対



宇治田原町地域防災計画



コンビニでも納税可能に

【答 弁】

副町長の職は必要との考えから計上したが、人件費と予算は一体であることから、補正予算にて減額修正を行いたい。

【質問】

町長給与の減額を再度実施すべきではないか。

【答 弁】

現状を見るなかで必要があれば対応したい。

【質問】

コンビニ収納導入のメリットは。

【答 弁】

納税者の利便性向上につながり納付環境の整備が図られる。

【質問】

子どもの医療費について、高校生まで拡充する考えは。

応策の検討を行う。

【質問】

生活周辺施設に係る投資的経費及び維持修繕経費の拡充対策は。

【答 弁】

補正も含めた予算対応を行う中、住民ニーズに適切に対応し、真に必要な道路の改良を進める。

【質問】

ともに創る重点プロジェクトの行動目標の達

成は。

【答 弁】

目標年次である平成27年までの3年間を総合計画の総仕上げと位置づけ、行動目標を確実に実行していきたい。

【質問】

なぜ、不在となっている副町長の人件費が計上されているのか。

一般会計



高校生も医療費無料に

【答 弁】

医療費補助については、他市町村に比べ先進的な取り組みをしているが、負担額について検証する中で考えたい。

【質 問】

保育所施設は小手先でなく、抜本的な改修が必要ではないか。

【答 弁】

当面の見込みでは、今回の改修で対応可能と考えているが、支援セン

ターとの併設については今後議論していきたい。

【質 問】

がん検診に対する受診率向上対策は。

【答 弁】

中学生から「がん」に対する教育も必要と考えている。また年齢を区切って個別通知を行いたい。

【質 問】

宇治田原山手線の整備促進に対する考え方は。



改修される保育所職員室を視察（予算特別委員会）

【答 弁】

西日本高速道路（ネクスコ）が工事用道路として山手線の活用を検討している中、府とも協議し事業進捗を図っていく。

【質 問】

中小企業融資のための新たな制度創設はどんなものを考えているのか。

【答 弁】

久御山町の「マル久」制度的なものを考えており、研究していきたい。

【質 問】

都市計画の立場から地域の中に公園を創設する考えは。

【答 弁】

現在の主な都市公園には、開発に伴い設置され



検診車

たものであり、住民の方が身近に集える公園整備に向け今後検討をしていきたい。

【質 問】

旧奥山田小学校の整備に伴う活用方法は。

【答 弁】

現有の建物を存続した考えでは進まないため、更地にして耐震化済みの特別教室等を改修し、広く住民の方が利用できるような施設とする。

【質 問】

中央公民館の当面の方向性は。

【答 弁】

代替え方策等について検討を行い、早い時期に方向性を考えたい。

【質 問】

茶史等編纂事業^{へんたん}について、今後の取り組みは。

【答 弁】

平成25年度を最終年度とし、執筆委員会等を設置し、発刊していく。



芝生養生中の都市公園

予算委員会

討論

反対

国の悪い政治には反対表明を

(安本 修 議員)

安倍政権は、TPPへの交渉参加、原発の再稼働・新増設、憲法改悪などの動きを強めている。TPPに参加すれば、わが町のような中山間地は重大な影響を受ける。これら国政の住民に不利益になる問題に対していざばりノ一と言えないのは、選挙戦で自民党の支援を受けたことと無関係とは言えない。町長は、一党一派に偏さず、住民の立場で政権政党にも京都府にもはつきりモノをいい、「住民福祉の増進」という自治体本来の役割を果たすべきである。高校生の通学費補助は、拡充したとはいえ、3割〜4割程度にしかならない。早急に半額まで引き上げるべき。保育所は、小手先の改修でなく抜本的な施設の改善を。当初予算の審議直後、最終日に補正予算を提案するなど前代未聞の事態をまねいたことは、お粗末極まりないので、深く反省を求めらる。

国保会計

【質問】

累積赤字解消のため、一般会計からの繰入れの増額を。

【答 弁】

国保財政健全化計画に基づき事業に全力で取り組んでいるところである。今後一般会計の繰入れについても十分検討

し、健全化が図れるよう努力していきたい。

【質問】

介護保険会計

【質問】

長寿対策についての基本的な考え方は。

【答 弁】

介護予防が大切であり、運動機能向上のために各種教室の充実に努めたい。

【質問】

介護保険制度での福祉用具の購入や、手すりの取付け、段差解消等の住宅改修費用を、最初から一割負担で済むように、委任払いにできないか。

【答 弁】

平成25年度からの実施に向け事務を進めている。

後期高齢者医療会計

討論

反対

(今西久美子議員)

保険料は改定のたびに引き上げられ、低・無年金者には特に重い負担であることは明白。高齢者を「お荷物扱い」する政治に未来はない。制度の即時廃止を求めらる。

下水道事業会計

【質問】

下水道使用料と浄化槽使用料を比較すると、浄化槽の方が割高となっている。不公平ではないか。

【答 弁】

下水道は町内全体での整備は困難であり、浄化槽の整備地区を設定している。維持管理コストの

違いにより使用料について違いが生じている。

【答 弁】

現在黒字会計となっているが、平成25年度から

下水道事業会計

【質問】

水道料金体系の改善についての考え方は。

値上げによる影響額を確認する上で検討していきたい。



下水道工事



垣内秋弘
議員

西谷町長の政治姿勢は

【答】町政運営のリーダーとして粉骨砕身努める

【質問】

1万住民のリーダーとしてどのような基本理念で町政運営にあたるか。

【答 弁 (町長)】

「好きやねん うじたわら」と言っていただけるまちづくりを「基本理念」にすすめる。

【質問】

町長選では「自民党の西谷信夫」で終始押し通し一党一派にこだわり続けられたが、今後は離党して中立な立場で、公平・公正、一党一派に偏しないことが重要だが町長の考えは。

【答 弁 (町長)】

町長という立場は一党一派に偏することなく、中立で公平・公正でなくてはならないと思っっている。離党に関しては支援者の方や党役員の方と相談したいと考えている。

【質問】

副町長の選任は「6月議会までに任命したい。自分は民間出身であり、行政経験者が適任。意中の人はいる」と発言されているが、議会の同意が必要であり、議会を完全に無視した軽率な発言である。町長の本意は。

【答 弁 (町長)】

私の言葉足らずの発言。議会を軽視したなど

という思いは毛頭ない。

議会の同意がえられるよう、しかるべき時期に提案させていただきたい。

【質問】

山手線について、南パイパスの延長から早急に取り組むべきだ。

【答 弁 (町長)】

新年度から山手線整備促進に向けた調査を未整備区間全線を視野に入れ取り組む。



役場庁舎

【答】庁舎のあり方を再検討し判断する

新地に庁舎移転を

【質問】

町長は豪雨時を想定して改修か、新築移転かを再検討するとしているが、築後50年経過した庁舎は耐震診断結果が極端に悪く危険な状態。新

地に新築すべきである。

【答 弁 (町長)】
現状では十分な機能をもち合わせており、屋根の修理をすれば当分は問

題はない。本町として再検討した結果不十分と判断するならば新築庁舎建設に着手する。

学級編成に配慮を

【答】補助教員を活用する



宇治田原小学校1年生

【質問】

宇治田原小学校新1年生は、本来1クラスだが2クラスにならないか。

【答 弁 (教育長)】

府の基準により1学級

編成となるが、単費の補助教員を重点的に活用し、対応できる指導体制を組んでいきたいと考えている。

住民の立場でモノが言えるのか

【答】リーダーとしてしっかりモノ申していく



今西久美子
議員

【質問】

先の町長選挙で西谷町長を推薦した自民党政権は、生活保護基準の引き下げや年金の減額、地方交付税の引き下げ、35人学級の実施見送りなど、消費税の増税とあわせて行おうとしている。住民に不利益をもたらす国や府の政策について、きっぱり住民の立場でモノが言えるのか。

【答 弁 (町長)】

1万住民の暮らしを守るリーダーとして、政権政党である自由民主党や京都府に対し、住民の立場で是非を判断し、しっかりモノ申していく。

【質問】

何を基準に是非かを判断するのか。先に述べた自民党の政策は是非か。

【答 弁 (町長)】

是非の基準は、住民福祉の向上にどのような影響

響を与えるか、慎重に判断すべきと考えている。

端的に言えば、非となるが、社会保障と税の一体改革などの財政問題を抱える中、総合的、かつ慎重な判断を要する課題であると考えている。

あると考えている。

水道料金の引き下げを

【答】見直しは必要。検証する

【質問】

宇治田原町では、府下

で2番目に高い基本水量であること、基本水量に

達していない

世帯が3割以上もあること、基本水量

以下の世帯では、節水し

ても努力が料金に反映されない仕組みであることなど指摘し、基本水量の見直し、基本料金の引き下げを求めている。今の水道料金体系をどう思うか。

【答 弁 (町長)】

府内でもほとんどの市町村の基本水量は本町の半分以下であることや、約35%の利用者が基本水量以内であること、さらには節水意識の向上のためにも、基本水量の引き下げは有効であり、見直し・検討が必要と考えている。今後、水道事業運営への影響の検証に取り組んでいきたい。

高校生通学費の半額補助を

【答】可能な限り増額に取り組む



町内唯一の公共交通機関であるバス

【質問】

町長は、選挙中のインタビューで、補助額を2分の1程度まで拡充し、全額補助をめざすとしているが、半額にもなっていない。今後、どのような段階を踏んで全額補助を考えているのか。

【答 弁 (町長)】

今年度、現行の20%、30%の補助金を、30%

40%に増加させる。また、バスを利用しない生徒の保護者に対しても、交付する。補助額を段階的に引き上げ、全額補助をめざしたい考えは、今も変わりないが、即、実現させるには無理がある。財源等の確保につとめる中で、可能な限り増額に取り組む。



水道メーター



谷口重和
議員

町長選のしこりはどうなった

【答】しこりは消え去った

【質問】

町長は選挙後のインタビューに「選挙のしこりは多少残る」と答えたが、現在の所信は。また副町長は6月に提案するとし、腹に決めた人物がいるようだが。

【答弁(町長)】

しこりについて、選挙直後は少し頭をよぎったのは事実であるが、今は消え去った。副町長の選任は、議会とも十分相談する中でしかるべき時期に提案をしたい。



延伸が待たれる山手線(南バイパス)

庁舎は改築か、新築か

【答】議会とも相談して判断したい

【質問】

西谷町長は、奥田町政を継承し発展させるとしているが、庁舎はどう考えているのか。

【答弁(町長)】

ゲリラ豪雨等を検証

山手線の完成はいつごろか

【答】新名神の完成にあわせて取り組む

【質問】

現在山手線は部分開通となっている。工業団地までの混雑からして急を要すると思うが、完成時期は。

【答弁(建設課長)】

山手線の完成時期は、新名神高速道路による町内交通増加の対応と位置づけ、平成35年の新名神の完成にあわせて取り組んでいく。また、部分開通もあり得ると考える。

ため池の安全診断は

【答】管理者と対策を講じていく



本の谷池(南地区)

【質問】

昭和28年の大水害で決壊していない古い堤防は危険性が高いと思うが、ため池の診断結果と緊急な対応は。

【答 弁(産業振興課長)】

平成24年度より3ヶ年計画を立て、危険度ランクが高く貯水量の大きい池から、高度な診断を実施しており、報告書を作成している。

体験型訓練HUGの実施をぜひ

【答】 有効な訓練であり、取り入れを検討

【質問】

東日本大震災から2年、自主防災会の発足、防災訓練など行われる中、体験型訓練HUG(ハグ)をぜひ、取り入れてはどうか。

【答 弁(総務課長)】

避難所運営HUG訓練は防災意識を高める有効な訓練であり、近隣市町の取り組み状況を参考に、本町でも取り入れを検討したい。

【質問】

耐震化が進む中、防災・減災の取り組みとして建物内部の耐震化、天井やガラス窓、カーテン等にも配慮を。

【答 弁(総務課長)】

大規模な建築物については、国において、新基準に基づいた施工が求められることとなる。有事の際には被災者の方々が

が安心安全な避難生活を過ごせるよう、ガラス飛

散防止フィルムを導入など、避難所内部の耐震対策を検討していきたい。

中央公民館の今後は

【答】 議会や住民の意見を尊重

【質問】

中央公民館あり方検討委員会で、「中央公民館は、閉館し取り壊すことが止むを得ない」との提言が出されたが、どう対処するのか。

中央公民館



山内実貴子
議員

利用者の今後の活動への不安感もある中、代替施設も含め、町全体の公施設の有効利用についての考えは。

【答 弁(教育課長)】

閉館時期や施設の活用について、今後できるだけ早く決定し、利用者へのきめ細かな情報提供など、丁寧な対応が必要と提言を頂いた。総合文化センターを拠点とし、住民体育館の会議室や中学校の和みホール、また地区公民館も含め、有効活用を見出したい。

子育て支援策について町長の考えは

【答】 子どもは町の宝、多様なニーズに対応

【質問】

保育環境も大きな範囲で考えるべく、他地域の民間保育園を招へいすることなども視野に入れながら、さらなる保育施設の充実について、町長の考えは。

【答 弁(町長)】

子育て支援の充実は、私の公約の大きな柱であり、子ども達は次世代を担う大切な本町の宝。民間保育園の招へいは想定していないが、町内に民間幼稚園があり、幼保連携も踏まえ、市町村子ども子育て支援事業計画の策定の議論の中でビジョンを描いていきたい。



うぐいす宇治田原幼稚園



奥村 房雄
議員

好きやねん宇治田原の実現は

【答】粉骨砕身努力する



田原川より庁舎をのぞむ

自主自立が可能なまちづくりをすすめるという基本姿勢のもと粉骨砕身努力する。

【質 問】
多くの公約を掲げられているが、全ての公約を短期間に実現することは至難の業と考える。中・長期的計画をたて一歩ずつ確実にすすめていただけのものど期待しているが、町長の考えは。

【答 弁(町長)】
3つの柱からなる51項目の公約については、日々変化する社会情勢のもと、住民目線でのそのニーズを的確にとらえ、政策に反映する中で、公約実現に向け誠心誠意取り組み。

【質 問】
町長はどのように元気な宇治田原町をつくり「好きやねん宇治田原」の実現をめざすのか。

【答 弁(町長)】

国、府政と協調し住民目線での町政運営、地域資源を生かし協働の町づくり、地方分権の推進と行財政改革の徹底により

有害鳥獣被害の現状と対策は

【答】町単費での小口助成を検討する

【質 問】

最近特に禪定寺地域では、野猿が年中居座っている感じで、集落の中まで侵入し、府道を平然と横断。追い払っても逆に威嚇する猿もいて、通学

路でも朝早くから出没するなど、野猿対策は急務であると考え。野猿被害の現状と対策はどうなっているのか。

【答 弁(産業振興課長)】
禪定寺、湯屋谷に生息する宇治田原A群が45頭いて、冬場の餌の少ない時期は活動範囲も狭く禪定寺地域に固まっていると思われる。パトロール隊の追い払いにも慣れ、行動も悪質になっているので、現在、捕獲に向け鋭

近年、鹿・猪被害も甚大で国の事業等を活用した電気柵が普及しているが、3戸以上の共同事業でない交付金の対象とならない。国の制度を条件緩和した小口の小規模圃場にも助成制度を拡大できないものか。

意取り組みをすすめている。また、猟友会の方に、年中を通して駆除に取り組んでいただいております、会員の免許取得助成も実施している。

【質 問】

【答 弁(産業振興課長)】
電気柵は有効な手段であり、国の制度活用を希望される方は早急に申し込んでいただきたい。小口助成については府に要望するなかで町単費の検討もしていきたい。



府道大石東線沿いの電気柵

【答 弁(産業振興課長)】
電気柵は有効な手段であり、国の制度活用を希望される方は早急に申し込んでいただきたい。小口助成については府に要望するなかで町単費の検討もしていきたい。

TPPを反対すべきでは

【答】 慎重に判断・対処されるべき



安本 修
議員

皆保険の制度をもつぶす

ことになる。はっきりと

反対すべきではないか。

【答 弁 (町長)】

TPP交渉への参加を

めぐる賛否は、国内世論

を二分する状況にある。

政府にはTPPの利点や

課題について十分な情報

提供と説明をする責任が

あり、国民的な議論と合

意を得て、慎重に判断す

べきと考える。

【質 問】

消費税の増税分は、す

べて社会保障にまわらな

いと国が答弁している

し、住民に大きな負担を

強いることになる。

また、東日本大震災か

ら2年を経過したが、今

もなお31万人が避難生活

を送っている。事故が収

束したとはとても言える

状況ではない。原発が出

す核のゴミは処理できる

状態がなく、今すぐに原

発ゼロをめざすべきであ

る。

この2つの課題は、住

民の暮らしを守り、安全

を確保するという町長の

基本姿勢にかかわる問題

である。町長として、はっ

きりと反対の姿勢を示す

べきではないか。

【答 弁 (町長)】

消費税増税は、もはや

避けては通れないと考え

る。さらに原発再稼働を

認めずに、今すぐに原発

ゼロにするわけにはいか

ない。原発の依存を段階

的に引き下げていく、い

わゆる「縮原発」という

考え方で進めるべきであ

る。

リフォーム助成制度ができないか

【答】 地元産材使用の助成を研究していく



リフォーム助成制度を

【質 問】

地元業者を利用してリ

フォームする際、助成す

る制度ができないか。

【答 弁 (産業振興課長)】

リフォーム助成は、特

定業種に限られ偏り過ぎ

ることから、総合的な業

者支援策としては適当で

ないと判断している。

【質 問】

リフォーム助成は、多

くの業種の仕事起こしに

役立つ。特に地元産材の

活用を視野にいった制度

として検討できないか。

【答 弁 (町長)】

森林・林業の振興につ

いては公約でもあり、森

林組合、木材・製材業者、

工務店など、協議をして

地元産材を使用した場合

の助成制度について研

究・検討したい。



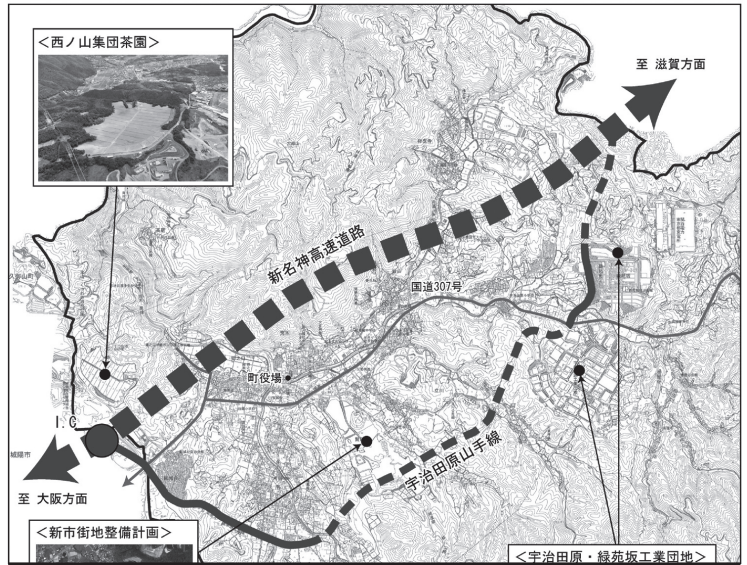
TPPへの参加は農業も地域も壊す



稲石 義一
議員

山手線の概算事業費 及び完成年度見込みは

【答】約60億円、平成35年度供用開始めざす



山手線ルート図

一般質問

【答 弁（建設課長）】
概算計算では約60億円と算定している。また、新名神高速道路の完成目標とされている平成35年

【答 弁（町長）】
市町村が実施することが原則であるが、西日本高速道路（株）に工事用道路として、また京都府

【質 問】
山手線の早期整備が喫緊の課題となっている。現段階での概算事業費と完成見込みは。

【質 問】
事業主体はどのように考えているのか。

【質 問】
度には供用開始できるように取り組みたい。

【答 弁（町長）】
都市計画の決定権限をはじめ障害者自立支援法関係事務などが移譲されたところであり、よりきめの細かな住民サービスの充実や事務の一体化による処理時間の短縮といったメリットがあった一方で、必要な人件費やシステム改修費に対する確実な財源措置がなされ

【答 弁（町長）】
一票を投じて頂けな

【質 問】
三位一体改革が町財政に与えた影響は

【質 問】
町長選挙における反対票及び棄権票等が64.3%であったが、住民負託の観点からどのように受け止めているのか。

【質 問】
反対者の声にどう対峙するのか

【質 問】
町長選挙における反対票及び棄権票等が64.3%であったが、住民負託の観点からどのように受け止めているのか。

【答】真摯に受け止める

に国道307号の関連事業として整備をお願いすることも考えられるため、今後のタイムスケ

ジュール、費用負担、必要性等課題整理に努めた

税、税源移譲を含む税源配分の抜本的な改革、いわゆる「三位一体改革」が町財政に与えた影響はどれくらいだったのか。

【質 問】
地方分権の推進について、権限移譲のメリット・デメリットはどうだったのか。

【質 問】
国庫補助負担金、交付

【答 弁（町長）】
平成16年度以降の9年間で約15億円の減収となっており、自治体の財政運営の根幹を揺るがす大きなダメージを与える改革であった。

町内に介護施設が必要では

【答】施設サービスの充実も必要



原田周一
議員

【質問】

平成26年度に1カ所の施設設置計画及び利用者48名の見込みの計画があるが。

【答 弁(健康長寿課長)】
地域密着型サービスの提供として、小規模多機

【質問】

能型住宅介護と訪問介護を組み合わせた複合型サービスを、平成26年度内に1カ所整備する計画である。

【質問】
なぜ26年度か。設置場所は。介護保険料の金額

【質問】

は。グループホームの計画は。
【答 弁(健康長寿課長)】
介護保険料の増額が著しくなり、その抑制を図るため第5期計画の最終年度の平成26年度に整備する計画とした。設置場所は、本町の地形を考慮して検討する。26年度の整備計画にあたり、介護保険料が月56円の増額となる。認知症グループホームの現状は、人件費や設備費等を含め利用者一人当たり月額40万円近くの事業費用が必要のため、介護保険事業計画にはうたっていない。

【質問】

緊急シヨートステイに対する現状は。
【答 弁(健康長寿課長)】
緊急シヨートステイは、高齢者福祉サービス事業として短期入所事業を提供している。冠婚葬祭や疾病などで在宅での介護が困難となった際のサービスで、近年利用者はない。

【質問】

施設介護の必要性をどのように考えるか。
【答 弁(町長)】
施設介護サービスの充実も大変必要であると考える。



本町にも介護施設を(宇治市のミニ特養)

副町長の人事は

【答】しかるべき時期に提案する

【質問】

副町長の不在は、町政運営や危機管理の面から問題があると思うが。

【答 弁(町長)】

危機管理の観点からはもとより、私の補佐役としても大変重要な任務を果たさなければならぬ職であることを認識している。

【質問】

6月と言わず早急に議



主を待つ副町長室

高校生通学費の全額補助の考えは

【答】全額補助をめざしたい

【質問】

鉄軌道がない現状から、最寄り駅まで全額負担への拡大の考えは。

【答 弁(町長)】

全額補助をめざす考えには今も変わりはないが、財政的なことを含めて検討を進めていく。

京田辺市消防署宇治田原分署長

きたお のぶひさ
北尾 信久 さん



インタビュー

宇治田原町住民の生命財産を守る安心・安全の要としての消防署。今年4月から京田辺市消防署宇治田原分署の分署長として赴任された北尾信久さんにインタビューしました。

Q 今回、3度目の赴任とのことですが

A) 平成4年、この消防分署が開設されたときに、係長として4年間、その後、平成19年から1年間勤務し、今回3回目となります。

Q 消防士になろうと思ったきっかけは

A) 小学校の社会見学で消防署を訪れ、間近で消防車、救急車を見てすごくかっこいいなと思い、また同級生のお父さんが消防士で、いろいろと話を聞いていたこともあり、人の役に立つ仕事がしたいと思ったのがきっかけです。

Q 宇治田原町の印象はどうか

A) お茶の町という印象が強いのですが、町内には名所旧跡が多数あり、訪れてみたいと思っています。また、地域住民みなさんの消防への理解が深く、心やさしいという印象です。

Q 工作上、大変なこと、嬉しいと思うことは

A) 山火事等で2日、3日と消火作業が続くことや、災害が発生したときに情報が入ってこない場合の対応が大変です。

火事、救助、救急の活動現場で、本人や家族の方から「ありがとう」とお礼を言われた時、消防士をやっていて、良かったと思います。

Q 新しい救急車両が入る予定ですが

A) 新しい救急車は、車内が広く活動しやすくなり、新しい器材も装備予定で救命率の向上につながると思います。また、多数傷病者事故にも対応可能となっています。

Q 住民の方をお願いしたいことがあれば

A) 地震等大きな災害の場合は、地域、隣近所の「共助」が必要になります。各地域で実施されている自主防災訓練では消火器や消火栓の取り扱い、応急手当など、隣近所の助けが必要な訓練ばかりです。いざという時に備えるため、ぜひ積極的に参加していただきますようお願いいたします。



宇治田原分署



配膳も自分たちで (田原小学校1年生)



地域が元気！福祉まつり



奥山田出身の葛川投手 (甲子園球場にて)



無病息災を願って… (猿丸神社)



今号の表紙

それぞれのご卒業、ご入学、おめでとうござい
ます。

写真は「うぐいす宇治
田原幼稚園」の入園式で
す。これから毎日元気に
通園してくださいね。

編集後記

新緑の好季節となりました。さて今回の3月議
会は、新町長誕生後、初
の定例会でもあり、一般
質問には多くの住民のみ
なさんが傍聴に来られま
した。新年度予算や補正
予算の審議においても、
活発な議論となり、今号
は盛りだくさんの内容と
なりました。

今後もわかりやすい議
会だよりの発行に努めて
まいります。ご意見・ご
感想をお寄せください。

広報編集委員 上林